

# 組合員専用WEBページ



トップページ右上の  
組合員はこちらを



神奈川土建一般労働組合機関紙

神奈川土建ホームページ 神奈川土建 検索

発行所  
神奈川土建一般労働組合  
〒221-0045 横浜市神奈川区  
神奈川2-19-3  
建設プラザかながわ  
☎045(453)9806(代表)  
発行人 西川 智幸  
編集人 古溝 潤  
定価60円  
(神奈川土建の組合費には上記紙代を含む)

## 神奈川土建一般労働組合第53回定期大会

# 現場に労働組合機能をつくらう



代議員の熱気あふれる本会議場

### 建設現場で働く 仲間を直接励ま す運動に注力

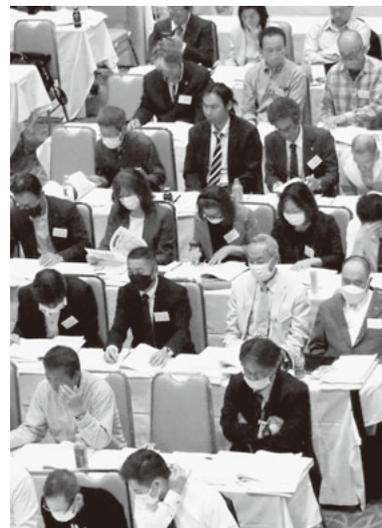
神奈川土建は5月12日から13日、ヒルトン小田原リゾート&スパで第53回定期大会を開催しました。参加者数は代議員296人、特別代議員44人で、分代会および分科会、本会議における討論を通じて新年度運動方針を採択しました。↓関連2・3面

新年度の重点運動方針として、建設現場に労働組合機能をつくる運動で、未組織建設労働者の組織化を図ることが掲げられました。神奈川土建が現場で感じた理不尽な出来事を告発する受け皿となる重要性と建設現場前宣伝行動や現場訪問行動の取り組みで、未組織建設労働者の組織化を目指すことが確認されました。大手資本の現場であつても「おかしいこと

はおかしい」と言えることが当たり前になるように、労働者自身が自分たちの権利のために闘える土壌をつくりあげていくことを目指します。

### 全事業所との対 話で労基法遵守 の周知徹底

改正労働基準法いわゆる働き方改革関連法への対応は避けて通れない課題です。労働時間の把握と36協定の提出、有給休暇の年5日取得義務化への対応や就業規則の作成、時間外労働の上限規制と割増賃金などに対応



討論に参加する仲間

### 役立つ情報を共 有する群会議に 集まろう!

いちばん身近な組合の窓口である群会議に、物理的に「集まれる」ということが、神奈川土建の力の源泉です。

できるよつに、分会に所属する全ての事業所に分会役員が周知を行いました。また、組合事務所に個別相談の窓口を設置し、事前予約による具体的な相談活動を進めます。

また、群会議では仲間の実体験に裏打ちされた情報や、組合で培ってきたノウハウを吸収する機会もあります。全組合員に配布する機関紙や「群会議の話題」には建設業を生き抜くための情報がつまっています。群単位の日常のつながりで組織していく労働組合を目指すと共に、組合活動の最初の一步となる群会議に参加することの大切さを伝え、仲間の結集を呼びかけます。

### 被災地との絆は今もなお

相模原

相模原支部では、2014年から相模原市の友好都市である大船渡市で復興支援住宅デーを行ってきました。2019年以降は新型コロナウイルスにより交流が途絶えていましたが、昨年の9月に10年目の締めくくりとして大船渡市の協力のもと「友好都市感謝祭」を開催し、30人の仲間が参加したことが報告されました。感謝祭イベントには、気仙沼の建設組合の仲間や今まで復興支援住宅

デーに参加した仮設住宅の皆さんも駆けつけてくれて、懐かしい人たちとお会いすることができました。約千人の来場で大いに盛り上がり、子ども工作コーナーに用意した80セットの椅子工作・おもちゃ箱工作キットもすべてなくなりました。



報告に立つ杉原代議員

## 新年度運動方針に対する質疑討論

### ■大会第1日目の質疑討論

〈西相支部・宮澤代議員〉組合共済A型とB型を埋めるような形でセット共済を改定できないでしょうか。

〈書記長答弁〉団体生命については組合費に組み込まれた部分の27,000人をパイとした運営の収支においても、2年間連続で掛金を給付が上回っており、加入者のパイがより小さく団体共済の対象年齢引き上げの改定の提案は困難です。

〈西相支部・宮澤代議員〉CCUSを活用して、労務管理を行えるような環境整備を行えないでしょうか。給与計算まで一連の流れを行えるような形にできれば、導入する動機になるかと思えます。

〈書記長答弁〉全建総連は国交省のCCUS処遇改善推進協議会に副会長を送り出しています。全建総連の賃金対策部会で荒井副委員長から要望を既にさせていただいています。CCUS自体は就業履歴であつて、労務管理ではないため、労働基準法上の事業主責任である労務管理の営業経費に国は補助を出さないとの見方がありますが、引き続き全建総連を通じて要請を行います。

〈西相支部・櫻井代議員〉住宅デーの統一開催のあり方について、もう少し時間をかけて検討を願います。

〈書記長答弁〉統一開催のあり方の本流は全国統一開催です。全建総連の6月中開催の提起を受け、神奈川連の6/16開催が本流です。神奈川土建は新年度も弾力的な運用を行いますが、弾力的な運用を本流にしてしまうと、様々な年間行事との関係でも統制が取れなくなってしまいます。

〈相模原支部・佐々木代議員〉昨今の気候変化で猛暑が続く中、熱中症などのリスクを考えると夏休みこだわっているのは時代錯誤の感が否めません。PTAと分会の実績にあわせた日程での開催とし、大会議案書の運動目標である全分会開催を目

指してはいかがでしょうか。

〈書記長答弁〉技術対策部では期間を6月から12月まで幅をつくり調整が可能な提案としています。現状で夏休みに工作の宿題が出ているかの調査も含めて、ご意見を預ります。

〈横浜戸塚支部・加藤代議員〉この間、書記局の離職が続き、書記局編成に影響が出ていると感じています。本部執行部として原因をどう分析しているのか。離職を減らすためにどの様な対策を考えているのか教えてください。

〈書記長答弁〉2020年から2024年4月までの退職者は合計41人で、多くはやむを得ない事情での退職者ですが、長く働ける就労環境づくりは、書記局の育成にとって重要です。2023年度に一年間通して就業した書記局員81人の時間外労働の月平均は30.21時間となっています。しかし、一部の支部では時間外労働が多くなっていることや、実務が効率よく回っていないといった様々な課題も残っています。毎月の主任会議をはじめ、書記局総会などで状況確認や意見を集め、改善をはかっていきます。

〈川崎西支部・西村代議員〉本部定期大会と組織活動者会議を一日開催にして、予算を必要な運動に振り分けることは出来ないのでしょうか。

〈書記長答弁〉定期大会の一日開催については、この間何度か討議を重ねてきましたが、必要な討議時間の確保を理由に二日間の開催を継続しています。尚、次年度については、会場費を圧縮するため、後楽園に会場を戻す検討がされていますのでご理解を頂きたい。

〈川崎西支部・星代議員〉住宅デーや工作教室がバラバラで開催されているようでは、神奈川土建として一致した団体としての強みを発揮できないと思います。宣伝活動や地域団体との関係から見て統一開催は当然であると考えます。

力強い後押しを頂きました。こうした行事をとおして、分会で活動する仲間を増やす効果を含めて統一開催を基本に進めてまいりたいと考えます。

〈鎌倉逗子葉山支部・桐田代議員〉人件費会計への按分増の検討が提案されていますが、決算書を見る限り財政が行き詰まっている様には感じない。

〈書記長答弁〉人件費の行き詰まり感が無いのご指摘ですが、現状で欠員7人分の給与の執行が無いために一定ゆとりがあるように見えてしまう。いち早く欠員を埋めて、体制を整えたいと思います。

〈川崎支部・松原代議員〉組織納入状況調査の結果を見ると、振込納入が3.9%、その他1.2%とありますが、振込納入は基本的に無いはずですか。本部の見解を知りたい。また、その他とは、どのような納入方法なのでしょうか。

〈書記長答弁〉振り込みは基本無いはずのご指摘ですが、今でも同じスタンスです。但し、実際にその様な納入をしている方がいるのも現実であり、それらを解消して組織納入にしてゆつために組織納入状況調査をしています。その他納入の実例ですが、一番分かりやすいのが、労災のみで加入している方が一年分の組合費をまとめて納めていると聞き及んでいます。

### ■大会第2日目の質疑討論

〈川崎中央支部・狩野代議員〉国保料については、振込または引落しにして、組合費等だけ現金で群会議に持って行くことは出来ないか。

〈書記長答弁〉引落、振込等については、何度も議論してきてはありますが、改めて受け止めさせて頂いて、リスクを減らす討議を進めさせて頂きたい。

# 大会分科会からの報告

大会1日目に50会場に分かれて開かれた分散会バスセッションに続き、大会2日目に集中討論が行われた11分科会の討議から報告内容を抜粋してご紹介します。

## 賃金



【賃金】高橋座長

**賃金は要求しなければ上がらない 請求要求運動の輪を広げよう！**

賃上げ要求について、そもそも賃金が上がると思っていない組合員もいる。要求しないと上がらないと伝えたら要求の仕方が分らないというので、必要な金額を簡易書式にして、話しが出来る上請けの社員と交渉した。20%増目標で17%上がったと後日に報告が来て嬉しかった。建設業はそもそも危険を伴うし、国のインフラ整備も担う産業なので、金額が高くて当たり前。こちらも要求しなければならぬし、国も理解すべきと考える。危険作業についての賃金評価が不当に低く抑えられている現状だとの指摘がありました。

公契約条例について、川崎、相模原、厚木から報告を求めました。川崎では市への要求運動の結果、報酬下限額が1%上がった92%になりました。

## 住宅



【住宅】霜越座長

**コロナ禍からの運動立て直しを急務 先進事例に学んで町場の職域防衛を**

今年の住宅データーは各支部、コロナ禍から完全に戻っていません。開催会場も減少傾向で複数分会による合同開催もかなりあります。また、組合の方で、住宅センターが機能している支部もあり、取り組みに温度差がありました。相模原支部の渡辺代議員から、未だに復旧が進んでいない能登の支援状況の報告がありま

した。新年度の各支部の住宅データーの開催予定は微増とコロナで一度大きく後退しており、そこから戻るにはかなりの時間と労力がかかるのかもしれない。この他、組合が大手資本と対抗していくためには、団結の力しかない。本部と神奈川県建設労連は住宅データーの打ち出し方など工夫してほしいと要望が出されました。

## 技術



【技術】小野座長

**工作教室は分会の組織づくりに寄与 仲間の取り組みに学んで前進しよう**

工作教室については、コロナ禍の影響で減少していた開催件数が、最盛期の176会場に対して、昨年度は19支部89会場と少しずつ回復している。また、熱中症対策や教職員の時間外労働への配慮などの課題も議論されました。地域の学童クラブやコミュニティセンター、知的障がい者施設での開催事例が共有されました。ある支部では、工作教室を紹介する案内パンフレットを小学校に送付し、開催できる学校

を発掘しています。最近の傾向として、学校単位ではなく教育委員会と連携して開催する支部が増えているようです。開催にあたっては、講師や下準備など多くの参加で行うことで、新たな活動参加者の掘り起こしにつながるなどの意見が出されました。また、技能者による職業体験授業の講師として派遣した取り組み報告がされました。

## 労働



【労働】秋山座長

**持続可能な建設業への抜本的な転換は 改正労働基準法の遵守が試金石となる**

いわゆる働き方改革関連法の遵守についての議論では、公共工事現場などに工期重視で働き方改革関連法の対応がされていない。企業交渉では原

## 税金



【税金】勝田座長

**インボイス制度の矛盾に怒りの声多数 納税者の権利保護に総力を傾けよう！**

インボイス制度について、消費税を払わなくてよかった人が払うのはやはりおかしい。インボイス学習会を行い、国会行動にも参加しているが、議員本人になかなか会えず、要求が届いているのか分からないとの不安が寄せられました。また、インボイス制度により初めて消費税を納めて金額に驚いたとリアルな感想が述べられました。

税金が高いから組合に相談に来た人がいた。税務署で申告したが経費などを聞いても教えてくれなかったため、非常に多く所得税を払ってしまった。税務署に相談してもスマホでやってくれと言われてしまう。若い人は自分のパソコンでやってみようが、分からないまま申告していることが多いため、事例報告がありました。また、税務調査に

## 社保



【社保】知念代議員

**マイナンバーカードと保険証の一体化反対 建設国保手当てを推奨して処遇改善を**

マイナ保険証の問題について、税金を使った事業にIT企業からの与党献金という形でお金が還流しているとの疑念が出されました。また、マイナンバーカードはなりすましが出来てしまうので、カードと保険証の一体化には反対との意見の他、国会行動を行っても議員本人に会えず、秘書対応が多いので、地元

## 表彰された功労者の皆さん

- 「中央執行委員長」 益田修次(川崎中央・現)
- 「中央副委員長」 荒井俊喜(横浜中央・現)、小森邦男(川崎中央・現)、横田和彦(川崎・現)、西川智幸(横須賀三浦・現)
- 「書記長」 今井賢治(南横浜・現)
- 「書記次長」 古溝潤(横浜中央・現)、榎原あゆみ(座間海老名・現)、井上真一(横須賀三浦・現)、中間忠良(相模原・現)
- 「常任中央執行委員」 後藤満夫(横浜緑・現)、高橋豊(横浜戸塚・現)、武藤秀人(湘南・現)、赤岩健也(相模原・現)、佐々木良春(座間海老名・現)、田島士朗(座間海老名・現)、齋藤治(川崎西・現)、公文洋一(相模原・現)、加賀智之(川崎・新)、小野浩二(西相・新)
- 「中央執行委員」 佐藤友一、田邊昭夫、武藤義則、菅原敏明、熊谷隆義、米谷展子、面安男、光野友樹、橋本謙
- 「特別中央執行委員」 主婦の会会長、シニアの会会長
- 「顧問」 小林康芳、仲野和則、大井茂
- 「特別中央執行委員」 天野武
- 「特別中央執行委員」 須賀三浦、加藤たみ子、伊東啓子「湘南」 塩澤寿夫、長谷山一也「大和」 山田成子、太田ゆり子「厚木」 小野田恵美子「相模原」 櫻庭由子、佐々木一彦「西相」 野田稔、鉦落誠「平塚」 瀬戸信也、西谷文一「座間海老名」 播磨伸也「茅ヶ崎」 老名「川崎西」 海老塚康平「横山」 小川和彦
- 「中央執行委員」 小野寺俊幸、島袋仁「クトル」 大熊善信、塩澤寿夫、田本和博
- 野田稔、岩田照幸、有賀茂一、内藤敦志、宮澤敦

## 退任された中央役員の方々

- 「中央執行委員」 小野寺俊幸、島袋仁「クトル」 大熊善信、塩澤寿夫、田本和博

### 厚文 社会保障制度の不十分さを補完する 助け合いの共済制度を推進しよう!



【厚文】 田中座長

団体生命共済の制度改定については、死亡保障が増額されると、過去に少ない額で給付された人にも追加で保障しないと納得しない。トラブルになるのではないかと不安が出されました。また、増えたり、減ったり変動があると混乱の元。

不必要に変えるのはどうかと思うとの意見が出されました。

総合共済規定について、私傷病見舞金の5日待機を無しにしてもいいなどの要望が出されました。入学祝い金について、高校入学祝いの新設を求める声が組合員からあると報告されました。また、給付対象外となっている別世帯の子どもの小・中学校の入学祝い金について、給付対象に含

### 組織後継者 最後まで可能性を追求する拡大運動で 全支部が年1%実増目標を達成しよう



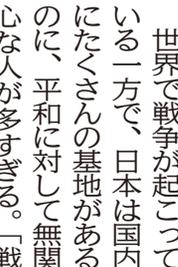
【組織】 澤内座長

初めに大会1日目に行われた分散会での議論を出し合いました。群会議の重要性や後継者対策について各分散会で討議されていきました。群会議の在り方については、振込み依存から改善できない支部もありました。一方で、丁寧に組合員に制度を説明したり、仲間の「困った」に支部を挙げて取り組んでいる支部もあったようで、組合の本来の形を見たなどの意見もありました。また、青年部が元気な支部

は活発という意見も多くありました。青年部からは、分会・群の役員の配置について、メインを新しい方をお願いし、ベテランの役員さんを「副」にしてサポートする形を取り入れたら、引き受けてくれる組合員もいるのではという意見もありました。組合の中に入らないと分らないことがあるので、活動する仲間を増やすことは重要だと、全員で確認しました。

川崎2・65%実増で奮起6支部が実増目標を超過 川崎支部が年間で組織人員を2・65%実増させ全員の運動をけん引しました。実増目標1%を達

### 平和 戦禍の記憶を風化させない学習を基礎に 戦争への橋はかけない平和運動の前進を



【平和】 櫻庭座長

世界で戦争が起こっている一方で、日本は国内にたくさんの基地があるのに、平和に対して無関心な人が多すぎる。「戦争を知らない子ども達」

という歌もあったが、もっと戦争を学んで運動をしていくべきだと学習の必要性求める意見が出されました。特に平和に関心がない若者が多く、

める要望が出されました。助言者より、組合員の傷病に対する労働組合の立場は、国と資本家の負担による社会保障制度の拡充で家族の生活安定を図れる制度要求運動の中で追求しなければならぬ。こうした不断の努力を前提として、現在の社会保障制度の不十分さを補完するものとして、仲間同士の助け合いによる共済制度の果たす役割があると感じました。保険ではなく、仲間の助け合いである共済制度を共に推進しようと思いました。

### 教育 頑張る仲間の姿を伝える機関紙活動と もの見方考え方を中心とした学習を



【教育】 内野座長

教育学習分科会は2つのテーマを設けて討議を行いました。第1テーマは機関紙の編集委員会の確立について話し合いを行いました。ほとんどの支部では、担当書記が新

聞を作っているの、編集委員会は討論するレベルに達していない。組合員に記事を依頼しても断られることが多いが、思い切って書いてもらうという面白い記事が出てくる。書いた本人もまた書きたくなると通信員を増やす取り組みが報告されました。新しい視点からの発言では、拡大の記事など

### 財政 群会議への参加と組織納入を徹底し 運動を支える財政活動を実施しよう



【財政】 川口座長

組合費の組織納入について、まめな連絡が出来ずに納入率が下がってしまったという経験談を口火に、LINEの活用や役員の声掛け活動など、

分会同士で切磋琢磨しながら納入率の向上に励んだ経験報告がされました。

また、93%台だった納入率を2〜3年かけて向上させた支部は、次の目標に組織納入の周知徹底を掲げました。分会予算については、使途を明確にしないと運動やイベントなどに分会の財政が活かせないという計画と報告をする必要があるとし、予算決算を明朗にする大切さが語られました。これと合わせて分会総会を委任状集めで済ま

### 「こ来賓の皆さまの紹介」



【平和】 櫻庭座長

この戦争がどういうものか分かっておらず、軍用機が飛んできたのを見て「飛行機だ!」と単純に喜んでいました。周りの大人に怒られて慌てて防空壕に飛び込む日々を重ねる内に、少しずつ怖い事だと学んでいきました。大人になった今、本心に無知だった子どもの頃を振り返ると、戦争自体が持つ本当の恐ろしさを感じずにはおられませんと語りました。

他に様々なSNSを使っている情報発信がされているが、スピード感が最大の魅力である一方で、載せて良いこと、ダメなことを管理することはとても難しいとガイドラインの策定を求める意見が出されました。最後に、運動方針案を読み上げて代議員の承認を得ました。

第2テーマはSNSの活用、事業所従業員への情報発信、学習会についての討議を行いました。SNSに関してはLINEを活用している支部が多数を占めました。この

せてしまつことに警鐘を鳴らす補足発言もありました。滞納者の対応については、滞納している理由を早期に把握することが大切で、本人のためにも長期滞納にさせない役員によるケアが必要との

意見が出されました。大会2日目の本会議では、年間を通して100%納入を堅持した支部として、横須賀三浦支部と平塚支部が表彰され、大きな拍手が会場から送られました。



表彰を受ける中丸代議員・横三



表彰を受ける大原代議員・平塚

- 祝電・メッセージを頂いた団体・個人の紹介**
- 全国建設労働組合総連合 書記次長 奈良 統一様、神奈川県建設労働組合連合会 書記長 菅野 健一様、神奈川県建設労働組合連合会 書記長 仙田 正志様、書記次長 天野 武様、横浜建設労働組合連合会 副会長 鈴木 祐次様、湘南地区協議会 会長 佐藤 和博様、湘南地区協議会 書記次長 渡邊 哲様、湘北地区協議会 会長 高橋 茂成様、神奈川県労働組合総連合 議長 住谷 和典様、東京土建一般労働組合 副執行委員長 佐藤 豊様、建設山口、島根県建設組合連合会、長野県建設労働組合連合会、兵庫県建設労働組合連合会、岩手県建設労働組合連合会、大分県建設労働組合連合会、長崎県建設労働組合、全建設連東京都連合会、徳島県建設労働組合、フレックセ、一般社団法人アーキテクトン奈良、福島県建設労働組合連合会、愛知県建設労働組合、和歌山建設労働組合、秋田県建設労働組合、全建設連茨城県建設労働組合、横浜合同法律事務所、川崎合同法律事務所、税理士法人町田税経センター、税理士法人ミナト会計、特定非営利活動法人 建設政策研究所、神奈川県商工団体連合会、働くものいのちと健康を守る神奈川センター、安保破棄、諸要求実現神奈川県統一促進会議、全日本年若者組合神奈川県本部、(株)神奈川機関紙印刷所あかつき印刷(株)、(株)トータル保険サービス、神奈川県生活協同組合連合会、こくみん共済COOP神奈川推進本部、立憲民主克神奈川県総支部連合会
  - 様、書記次長 中宿 稔様、千葉土建一般労働組合副執行委員長 中島 宏和様、書記次長 小松 悠様、全京都建設労働組合執行委員長 平山 幸雄様、福岡県建設労働組合 副執行委員長 北川 和利様、田川建設労働組合 執行委員長 和田 吉和様、神奈川県建設連合国民健康保険組合 事務局長 坂間 圭介様、神奈川県土建一般労働組合顧問 仲野 和則様、福田 信男様、小林 康芳様、大井 茂様

# 労働組合の力で賃上げを

## 第95回県・横浜メーデーに1500人

横浜市内で開かれた第95回県・横浜メーデーに降雨をおして1500人が参加しました。主催者あいさつに登壇した住谷神奈川労働議長は、労働組合を通じて闘いが広がっていることについて「賃金を引き上げられるのは労働組合の力だけ」と鼓舞しました。

県・横浜メーデーは5月1日、沢渡中央公園にて労働者の団結で生活や権利を守り「平和と民主主義、中立の日本を目指そう」をスローガンに、賃上げや労働時間の短縮などを掲げ連帯を確認しました。物価変動の影響を除いた実質賃金が24カ月連続のマイナスとなる中、物価高騰に負けない圧倒的な賃上げを求める声があいさつした日本共

産党の小池晃書記局長は、衆参3補選に不戦敗を含めて自民党が全敗したことに触れ「裏金づくりで岸田政権は追い詰められている。神奈川から



被災地の報告をする飯田さん

解散・総選挙で国民の真を問えの声を上げていこう」と訴えました。

### 能登の被災現状を報告労働者に連帯呼び掛ける

能登半島地震において建設が進められている応急仮設住宅の進捗と被災地の現状を、労働者派遣事業を通じて施工にあたった飯田知己さん(横浜戸塚)が報告しました。



雨についてのデモ行進

現地に着して驚いたのが建物被害の大きいです。まるで昨日震災があったかのように、倒壊した瓦礫はそのままに手付かずの状態でした。建設現場となった小学校のグラウンドに隣接する体育館には被災された方が避難されており、私たちの作業を物憂げに見つめる姿に胸が詰まりました。人と物が大動員された大阪万博建設との格差にやるせなさを感じました。

## 今月のテーマ 検査前10時間の絶食が必要なわけ

健康診断では身体の状態を知るために血液検査を行います。身体の状態を正確に知るには検査前10時間は食事をせずに空腹の状態での検査を受けることが必要です。

### 10時間の空腹が必要

なぜ、検査前10時間食事をしないといけないのでしょうか。それは血糖値と中性脂肪に影響してしまつたからです。血糖値は血液中のブドウ糖(血糖)

の濃度をあらわします。食事を摂ると消化吸収によってブドウ糖を取り込み、血糖値が上昇します。空腹状態であれば、血糖値は安定し基準値内になります。同様に中性脂肪も食事を摂ることで血中に放出され上昇します。

お水やお茶は大丈夫

中性脂肪は主に脂肪組織や摂取した食事の脂質からつくられる脂肪の一種です。以上のことから、検査は血糖値や中性脂肪の濃度が安定している空腹の状態こそが、最も正確に測定でき、糖尿病や心血管疾患のリスクを正しく判断することが出来ます。



市川可奈子保健師の

## 健康のススメ

健康診断では身体の状態を知るために血液検査を行います。身体の状態を正確に知るには検査前10時間は食事をせずに空腹の状態での検査を受けることが必要です。

## 医師の働き方改革現状と課題

働くもののいのちと健康を守る神奈川センターは5月25日、建設プラザかながわで第26回総会を開催し、第二部の講演に植山直人氏(全国医師ユニオン代表)を講師に招きました。医師の働き方改革の現状と課題について学びました。



講師の植山直人氏

## 書記局員募集

組織力強化の一環として新たな人材を募集します。

- 応募条件  
建設労働者の賃金・労働条件の改善運動に熱意のある方、デスクワークや事務処理に長けた方
- 給与・諸手当  
基本賃金(年齢給・勤続給・家族手当)  
基準外賃金(通勤手当、時間外手当など)  
定期昇給は年2回、期末手当(夏季・冬季)
- 応募方法  
履歴書と職務経歴書を本部の採用担当者まで郵送  
〒220-0045 横浜市神奈川区神奈川2-19-3建設プラザかながわ  
神奈川土建一般労働組合 採用担当者 TEL045-453-9806



## 技術センターだより

## 資格講習会のご案内

### 神奈川土建の講習

- 足場の組立て等作業主任者技能講習  
(受講料: 10,000円、休憩を除く14時間講習)  
7月20日(土)~21日(日)  
会場: 建設プラザかながわ
- 有機溶剤作業主任者技能講習  
(受講料: 14,000円、休憩を除く13時間講習)  
8月22日(木)~23日(金)  
会場: 建設プラザかながわ
- 職長・安全衛生責任者教育 リスクアセスメント含  
(受講料16,000円、休憩を除く14時間講習)  
9月14日(土)~15日(日) 会場: 横浜戸塚支部
- 低圧電気取扱業務 特別教育  
(受講料: 8,000円、休憩を除く8時間講習)  
9月22日(日) 会場: 建設プラザかながわ
- 熱中症予防労働衛生教育(指導員・管理者)  
(受講料: 6,000円、休憩を除く4.5時間講習)  
6月30日(日) 会場: 西相支部  
7月21日(日) 会場: 厚木支部

### 神奈川建設労連の講習

- ※支部を通じて神奈川県連に申込みして下さい。
- 玉掛け技能講習  
(受講料: 29,000円 資格保持者25,000円)  
7月2日(火)、3日(水)、7日(日)  
会場 学科: 建設プラザかながわ 実技: 教習機関
- 石綿使用建築物等解体等業務 特別教育  
(受講料: 3,000円、休憩を除く5時間講習)  
7月5日(金) 会場: 建設プラザかながわ
- 職長・安全衛生責任者教育 リスクアセスメント含  
(受講料16,000円、休憩を除く14時間講習)  
7月7日(日)~8日(月) 会場: 建設プラザかながわ
- 小型車両建設機械 特別教育  
(受講料: 19,000円) 7月17日(水)~18日(木)  
会場 学科: 建設プラザかながわ 実技: 教習機関
- 高所作業車運転技能講習  
(受講料: 14H講習48,000円、小型移動式クレーン技能講習修了者12H講習46,000円)  
8月23日(金)~24日(土)  
会場 学科: 建設プラザかながわ 実技: 教習機関

### その他の提携講習機関

nextPCT(旧: IHI技術教習所) コマツ教習所  
PEO建機教習センター(旧: 日立建機教習センター)  
日建学院 総合資格学院 技術技能講習センター  
等、詳細は各支部窓口にお問い合わせください。

### 青年部マル得援助金のお知らせ

青年部加入者の「マル得援助」の対象に「マル得資格取得祝金」に対応する国家資格等の受験料も加わりました。受験料の払込証または領収書を添付して申請を行ってください。

### 申し込み、問合せは所属する支部事務所へ

☆写真1枚(縦3cm×横2.4cm)を用意。無帽、無背景、上三分身、頭髪を含め顔、体を写真内に収める。(顔、髪、顎の見切れは受付不可)  
☆公的機関の発行した身分証明書で氏名・住所・生年月日の確認をします。  
☆日程変更や中止になる場合もあることをご留意ください。  
☆無断欠席、当日のキャンセルによる受講料の返還には応じかねます。  
※募集の締切りは開催日2週前の平日です。申請書・写真・添付資料、受講料を準備して支部で申し込みをし、支部・単組は速やかに当センターへ提出してください。  
※作業主任者講習、職長・安全衛生教育、準備講座、JW-CADの申し込みには、労働者の場合は雇用保険被保険者資格取得等確認通知書、一人親方は労災保険加入証のコピー添付と、番号の申請書記入。また、最終学歴の記入をお願いします。